

早稻田大学大学院日本語教育研究科 オンライン入試説明会

在学生の声

修士課程



2026年1月



張 天淳

経歴

埼玉大学教育学部で小学校教育を
学んでいました。

2025年9月 修士課程入学
一般入試

入試
区分



Graduate School of Japanese Applied Linguistics
早稲田大学 大学院日本語教育研究科

日本語教育に興味を もったきっかけは？



留学生が日本語力不足で帰国する姿を見て
関心を持ちました。

早稲田大学大学院 日本語教育研究科を選んだ理由は？

以前通っていた専門学校で出会った憧れの先生が
早稲田大学日本語教育研究科の出身でした。授
業の姿勢や研究への向き合い方に強く影響を受け、
同じ環境で学び直し、自分も日本語教育を専門的
に深めたいと思い、進学を決めました。

大学院生活はどうですか？

塾講師のアルバイトで研究時間は限られ、課題や締切に追われて自転車操業だと感じる日もあります。それでも、移動時間に文献を読み、週末にデータ整理や執筆を進めるなど、できる範囲で工夫しています。

忙しいからこそ学びが生活に密着し、授業で得た視点が現場の見え方を変える瞬間があり、毎日が充実しています。



早稲田の日本語教育研究科は、「好き」だけでなく「なぜそれを研究したいのか」を言語化する力が問われます。同時に、日本語教育への熱意を持続することも大切です。

受験を考えて いる人への メッセージ

完璧な計画でなくて大丈夫。自分の経験を出発点に、先行研究を読み、問い合わせを小さく具体化していくべき形になります。迷いながらでも、一歩ずつ進めばちゃんと届きます！応援しております！

◆修士課程1期日のスケジュール

(1コマ=100分)

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00							
10:00							
11:00			理論研究	自習	実践研究		
12:00		教案作り 論文購読	実践研究	基礎演習	休憩		アルバイト
13:00	アルバイト						
14:00							
15:00							
16:00				自習	理論研究	休憩	
17:00							
18:00	教案作り 論文購読		アルバイト	アルバイト	アルバイト		自習
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
0:00							

※色分けについて
オレンジ:大学院授業関連
緑:自習・研究など
青:仕事関連
白:その他

崔 秀彬

韓国の大大学で日本語日本文学を専攻し、教職課程を履修しました。半年間日本に交換留学をし、日本語教育学を学びました。

入試区分

経歴

2025年4月 修士課程入学
海外指定大学推薦



Graduate School of Japanese Applied Linguistics
早稻田大学 大学院日本語教育研究科

日本語教育に興味をもった
きっかけは？

早稲田大学大学院
日本語教育研究科を選んだ理由は？

自分の研究分野を専門とする先生がいらっしゃったことです。日本の大学で実践できることも大きな魅力でした。教育学の研究は現場を知らないと始まらないのではないかと思います。日本語で留学生に授業を行う実践科目は研究にもキャリアにも、とても貴重な経験だと感じました。

日本語教職課程を履修し、留学中に「韓国語教室」というボランティア活動に参加しました。第二言語習得と指導に関心が深まり、教えることが楽しいと感じ、日本語教育に取り組みたいと思うようになりました。



大学院生活はどうですか？

理論科目では未知の分野の知識を蓄え、実践科目では教師としての自分を発見し、新しい学びであふれる日々を過ごしています。漠然とした理論や知識が、授業でのディスカッションと課題を通じて自分の知識として定着する瞬間を楽しんでいます。

先生とゼミの仲間からたくさんのフィードバックを受け、研究も楽しく進めています。課題も少なくなく、情報量も多いので疲れる時もありますが、先生のサポートを受けながら、仲間と悩みを共有して乗り越えるようにしています。



「修士」「大学院」と聞くと大きな挑戦だと感じるかもしれません。勉強の延長だと考えるとより楽しい旅として感じられると思います。

受験を考えて
いる人への
メッセージ

日研は研究だけではなく、多様なバックグラウンドを持っている学生と一緒に学べることも魅力だと思います。ぜひ、日研に来て皆さんのお話を聞かせてください。お会いできることを楽しみにしております。

◆修士課程2期目のスケジュール

(1コマ=100分)

時間	月	火	水	木	金	土	日		
9:00	アルバイト (TA)	理論科目受講							
10:00				理論科目受講	アルバイト (小学生日本語指導)	休憩			
11:00		課題作成							
12:00			実践科目受講	課題作成 ・ 演習の発表準備	研究テーマ 文献調査	休憩 やり残した課題 一週の振り返り			
13:00			実践科目受講						
14:00		研究テーマ 文献調査	実践科目受講	演習科目					
15:00									
16:00									
17:00									
18:00									
19:00									
20:00			課題			休憩			
21:00		実践の練習	演習の練習						
22:00									
23:00									
0:00									

※色分けについて
オレンジ:大学院授業関連
緑:自習・研究など
青:仕事関連
白:その他



平木 咲衣

経歴

国際交流基金の日本語パートナーズ
という制度を使って、ベトナムで日本語
教育のサポートをしていました。

2025年9月 修士課程入学
一般入試

入試
区分



Graduate School of Japanese Applied Linguistics
早稻田大学 大学院日本語教育研究科

日本語教育に興味をもったきっかけは？

大学生の時に技能実習生との交流を通じて、日本語教育には様々な役割があると感じたのがきっかけです。



これまでの経験を理論で裏付けたく、大学院進学を選択しました。

中でも日研を選んだのは、多様な分野の先生がいらっしゃり、多角的な視点から学びを深められると思ったからです。実践の機会が多いことも魅力でした。

早稲田大学大学院
日本語教育研究科を選んだ理由は？

大学院生活はどうですか？

課題や実践の準備で慌ただしいですが、自分の興味をとことん深められる環境で過ごす日々は、とても充実感があります。1期目の「日本語教育学基礎演習」では、自分の研究計画書について日研の先生方全員からコメントやアドバイスを頂くことができます。

同期や先輩方とは、日本語教育に興味があることは共通していますが、その先の個人のテーマや関心は様々で、対話を通して気づくこともたくさんあり、教室外も学びに溢れています。



入学前は日本語教育に関する経験が少ないことに不安を抱えていましたが、日研ではたくさんの実践の機会が提供されていますし、先生方にも相談しやすい環境です。

受験を考えて
いる人への
メッセージ

これまでの経験の有無よりも、いま自分がどんなことに関心を持ち、課題を感じているのかが求められていると思います。「なぜ？」を繰り返し、自分や社会を問い直すことから始めてみてはいかがでしょうか。日研でやりたいこと・叶えたいことがきっと見つかるはずです。

◆修士課程1期日のスケジュール

(1コマ=100分)

時間	月	火	水	木	金	土	日			
9:00	日本語学校 非常勤講師	日本語学校 非常勤講師		研究計画書作成						
10:00										
11:00			実践研究科目受講		外国語科目聴講					
12:00										
13:00	CJL授業のTA	実践科目受講	日本語学校 教務事務	基礎演習		課題や文献調査など	課題や文献調査など			
14:00					自習室で課題					
15:00		理論科目受講		応用演習(ゼミ)見学	理論科目受講					
16:00	理論科目 (オンデマンド)受講									
17:00										
18:00										
19:00	事前課題・事後課題	事前課題・事後課題	研究会参加	事前課題・事後課題	事前課題・事後課題					
20:00										
21:00	実践科目準備		研究計画書作成							
22:00										
23:00										
0:00										

※色分けについて
オレンジ:大学院授業関連
緑:自習・研究など
青:仕事関連
白:その他

「在学生の声」をご覧いただき
ありがとうございました。
皆さまと日研でお会いできる日を
楽しみにしています！



Graduate School of Japanese Applied Linguistics
早稻田大学 大学院日本語教育研究科